

## 2024 年度研究発表会・アウトリーチワークショップのお知らせ

### 【アウトリーチワークショップ ー高松城下まち歩きー】

(中国四国支部・社会貢献と魅力発信に関する特別委員会共催)

期 日：10月9日(水) 14:00~17:00

テ ー マ：なぜ、高松城下は南海トラフ地震に耐えたのか？高松平野の土地の成り立ちから大学生と考える

見 学 地：玉藻公園から瓦町駅まで約 1.5 kmのまち歩き

集合場所と時間：14時に玉藻公園西門（JR 高松駅側、発表会場から徒歩 5 分）集合、17時にこと  
でん瓦町駅で解散

定 員：会員および一般の方々を含め 30 名程度

案 内 者：香川大学創造工学部 防災・危機管理コースの大学生  
(野々村敦子教授指導)

参 加 費：無料

申し込み方法：定員制で先着順となります。

Google フォームにて、申し込みください。 <https://forms.gle/5JxTRMPPr3Bgjheq7>



### 【支部からのコメント】

香川大学創造工学部防災・危機管理コースでは、2019 年から大学生が高校生を案内するブラタモリ風防災まち歩きを実施しています。大地の成り立ちから高松城下のまちづくりと防災を考えるまち歩きは、マスメディアでも取り上げられて、受験生の獲得にも貢献しています。

高松大会では市民、高校生および学会員などを対象とした大学生によるまち歩きを実施し、地形・地質学の専門的な知識をアウトリーチ活動にどのように活用するかを一緒に考えたいと思います。

散策では、高松城跡（現、玉藻公園）から旧城下町の約 1.5 kmを古井戸の観察を中心に歩き（写真 1）、なぜ、海岸に隣接するところにお城（水城）を作ることができたのか？（写真 1）なぜ、城下町が発展することができたのか、防災とラフラインの確保という観点から、地盤の成り立ちや地下水の供給路（写真 2）などを掘り下げて考えます。

散策後には、ことでん瓦町駅にあるフラッグの会議室にて、お茶とお菓子を提供の上、振り返りの場を持ちたいと思います。

写真 1 天守台上の展望  
デッキから北側（海）  
を望む





a. かつての城下町の中の今井戸跡

b. かつて城下に配水されていた跡が見られる今井戸跡

写真2 かつての高松城下の井戸跡



<http://www.takamatsujyo.com/annaiheimenzu.htm>

図1 アウトリーチの見学ポイント（予定）